

多木化学グループサステナブル調達ガイドライン

1. はじめに

多木化学グループは、「多木化学グループ行動憲章」をサステナビリティ推進方針と位置づけ、社会の持続的発展に貢献するとともに、弊社グループの持続的発展と企業価値の向上を図っています。

多木化学グループ行動憲章

私たちは、グループ理念「創業者精神に則り、自然と環境を守り、確かな価値の創造を通じて、豊かな社会の実現に貢献する」にもとづき、グループ全体の継続的発展と企業価値の向上を図るとともに、高い倫理観と確かな価値観をもって、真に社会から信頼される企業をめざします。

1. 社会のニーズに適応した安全・安心・高品質の製品・サービスを開発、提供し、顧客の満足と信頼を得ます。
2. 法令、社会規範及び社内規則を遵守し、公正かつ自由な競争を行います。
3. 株主、取引先、従業員、地域社会等の企業を取り巻く関係者に対して、企業情報を適時適切に開示し、広く社会に開かれた企業をめざします。
4. 従業員の人格や個性を尊重し、安全で働きやすい職場環境を確保するとともに、目標に果敢に挑戦する活力ある職場づくりをめざします。
5. 自然と環境を守り、社会との調和を大切にする事業活動を推進し、地球環境の保全に努めます。
6. 社会の一員として責任ある行動をとるとともに、自主的に社会貢献活動を行います。
7. 社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体には毅然とした態度で臨みます。

その一環として、真に社会から信頼される企業をめざし、「持続可能な地球環境への貢献」、「安全・安心・品質」、「製品・サービスを通じた環境と社会への貢献」、「人的資本経営の推進」、「ステークホルダーエンゲージメントの向上と GRCの推進」を4つのマテリアリティととらえサステナビリティ活動を展開しています。

多木化学グループ マテリアリティと重要課題

マテリアリティ	重要課題
1. 持続可能な地球環境への貢献	①気候変動への対応 ②サーキュラーエコノミーの推進
2. 製品・サービスを通じた環境と社会への貢献	③新製品・新技術の研究開発 ④環境配慮型、社会課題解決型製品・サービスの提供
3. 人的資本経営の推進	⑤人権尊重と働きやすい職場づくり ⑥人材育成とダイバーシティの推進 ⑦業務効率化と生産性向上
4. ステークホルダーエンゲージメントの向上と GRCの推進	⑧ステークホルダーエンゲージメントの向上 ⑨ガバナンス(G)の強化 ⑩リスクマネジメント(R)の強化 ⑪コンプライアンス(C)体制の維持・強化

2. サステナブル調達への取り組み

多木化学グループは、「グループ行動憲章」、「マテリアリティと重要課題」等に基づき、社会の持続可能な成長に貢献するための取り組みを、お取引先様と協力して実行・推進していくために、「多木化学グループサステナブル調達ガイドライン」を制定しています。

このガイドラインには、企業としての社会的責任を果たし、長期的な価値を創造する観点から、「多木化学グループ調達方針」と、お取引先様に積極的に取り組んで頂きたい事項を記した「サステナブル調達推進項目」で構成しています。

ガイドラインの趣旨と内容をご理解頂き、前向きに取り組んでいただくことで、お取引様と弊社グループ双方の企業価値向上に繋げることができることを目指しております。つきましては お取引先様におかれましては「サステナブル調達推進項目」について、サプライチェーンでのご対応をいただくとともに、弊社グループ「サステナブル調達」活動についてより一層のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

3. 多木化学グループ調達方針

多木化学グループは、お客様に安全・安心・高品質の製品・サービスを提供すると共に社会的責任を果たすべく、「多木化学グループ行動憲章」ならびに「多木化学グループ人権方針」に則り、自社の行動はもちろんのことお取引先様とのパートナーシップを大切にしながら、公正な調達取引を行っております。

1. お取引先様との信頼関係の構築

お取引先様とは相互の信頼関係を構築し、社会のニーズに適応した安全・安心・高品質の製品・サービスを開発、提供し、お客様の満足と信頼を得ます。

2. 法令、ルールへの遵守及び公正な取引

関係法規、社会規範を遵守すると共に、公正に評価した購買活動を行います。

3. 安全衛生

安全衛生リスクを適切に管理し、労働安全衛生の継続的な改善に取り組んでいるお取引先様からの購買・調達を推進します。

4. 人権等の尊重

人権・性別などによる差別の禁止および人格や個性を尊重し、児童労働、強制労働や長時間労働を行わないお取引先様からの購買・調達を推進します。

5. 地球環境の保全

自然と環境を守り、社会との調和を大切にする事業活動を行い、地球環境の保全に取り組むお取引先様からの購買・調達を推進します。

6. 反社会的勢力との関係遮断

暴力団などの反社会的勢力に対しては、関係を遮断し、毅然とした態度で臨みます。

7. お取引先様とのかかわり

お取引先様と積極的に対話し、信頼関係に基づく協働により、持続可能な購買・調達を推進します。

8. タンタルサプライチェーン方針について

多木化学グループでは、別途定める「タンタルサプライチェーン方針」に則り、タンタル鉱物の調達を行っております。

<https://www.takichem.co.jp/products/chem/functional/pdf/tantalum.pdf>

4. サステナブル調達推進項目

1) サステナビリティの推進とサプライチェーンへの

- ・社会の持続的発展に貢献する企業活動および社会活動に自主的かつ積極的に取り組んでいる。
- ・自社のサステナビリティを積極的に推進し、活動への取り組み状況の公開に努めている。
- ・サプライチェーン全体へのサステナビリティ推進のため、自社の取引先においてもサステナビリティを働きかけている。

2) 労働者の人権

- ・強制的な労働、児童労働、低賃金労働などに代表される非人道的な労働行為を行わない。
- ・適正な賃金の提供、適切な労働時間の管理などを行い、従業員の権利を尊重している。
- ・ハラスメントや職場における暴力行為などを防止している。
- ・採用・雇用などあらゆる場面において差別を撤廃し、機会均等と処遇における公平の実現に努めている。

3) 安全衛生

- ・災害の防止基準を確立し、従業員の災害防止に万全を期すとともに労務安全管理を実施している。
- ・安全で清潔な労働環境を整備し、従業員の健康管理に配慮することで労働災害、労働疾病を防止している。
- ・安全を守るため、発生しうる災害や事故などを想定し、緊急時の対応策を策定している。

4) 環境

- ・環境関連法令を遵守するとともに、資源の使用と排出の継続的な測定・評価・報告を行い、環境負荷の改善に努めている。
- ・省資源化、省エネルギー化、CO2、有害物質等の排出の削減、廃棄物の削減など、環境負荷の低減に取り組んでいる。
- ・地球環境の保護や生物多様性の保全に配慮した事業活動を行っている。

5) 品質と化学物質管理

- ・顧客の要求品質を満たし、安全な製品の提供に努め、製品やサービスに関する正確な情報を提供している。
- ・有害化学物質の管理や製品の安全等に関わる法令・基準を遵守し、製品の使用者や消費者の健康、安全の確保に努め、また製品の品質に関する規定などを制定している。
- ・試験・検査データの改ざんを防止する仕組みが構築されている。

6) 企業倫理

- ・相互利益尊重と信頼、誠実な関係を構築するために、健全かつ透明性のある事業経営の推進と適切な情報の開示、共有に努めている。
- ・暴力団などの反社会的勢力に対しては、毅然とした態度で対応し、その介入を許さず、また一切の関係を遮断している。
- ・事業活動においては、商取引、労働、環境、安全、知的財産など国内外の法令や社会規範を遵守し、企業倫理に基づいた公平、公正な取引を行っている。
- ・事業活動を行う各国や地域で適用される法令を遵守することに留まらず、現地の文化や慣習を尊重している。
- ・健全な商習慣や社会的常識の範囲を超えたあらゆる種類の違法・不正・反倫理的行為を行わない。
- ・顧客、第三者、従業員の個人情報適切に保護し、漏洩防止策を構築している。
- ・事業活動を行う上で、知的財産権に関する方針や規程、ガイドラインを制定し、第三者の知的財産権を侵害していない。
- ・武装勢力の資金源となるような紛争鉱物を製品の原材料として使用していない。

7) 危機管理

- ・コンピュータネットワーク上の脅威に対する防御策を講じて、自社及び他社に被害を与えないように管理している。
- ・自然災害、事故、感染症などの不測の事態に対応するため、事業継続計画を策定している。
- ・常に原材料・設備・サービスの安定的な供給に努めるとともに、不測の事態においてもそれらを供給できる対策を講じている。

8) マネジメントシステム

- ・危機管理に関する取り組みについて継続的な改善や、ステークホルダーから意見を取得や自己評価するプロセスを運用している。

上記内容を踏まえた「調査シート」が、お取引先様に積極的に取り組んで頂きたい内容となります。